

インターネットを使った 留学方法

国際コミュニケーション学部4年
小瀬木 呂斗

私たちは2024年に生きている！！インターネットは最盛期を迎えている。今や人とつながるもそう。孤独な夜もスマホやパソコンを通してドラマや映画を見て楽しめる。

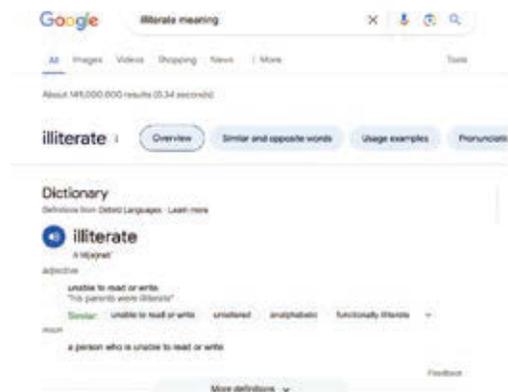
私は2020年大学二年生の年に一年間休学をして、自宅で英語を練習していた。英語の習得という留学で英語圏の国で生活したり、TOEICや英検などの資格試験での勉強、英会話教室に通うなどが一般的かと思います。私の場合はインターネットで英語の動画を一日中たくさん（本当にたくさん）見まくって英語を理解して喋れるようになりました。きっかけはある日YouTubeでMatt vs Japanというチャンネルを見かけたことです。Mattさんはアメリカに住みながら約10年間インターネットを使って日本のアニメ、ドラマ、小説をひたすらにinputして日本語の達人になった方です。ある日彼が日本語を話している動画を見つけて、人生で見た白人男性の中でダントツで一番日本語が上手くて、彼の学習方法をそっくりそのまま真似しようと決心しました。

これはimmersion（浸す）と呼ばれる学習方法です。文字通り、日本にしながら英語の環境に身を”浸す”のです。私はこの勉強方法をする決めてからスマホの設定を英語にし、パソコンの設定も英語、自分のYouTubeのアカウントも新たに英語の動画を見る専用の別アカウントを作って、日本語には必要がない限り触れない（家族、友達、バイト先での会話のみ）という生活を始めました。空き時間があれば常にイヤホンをして英語を聞くか、英語のwebサイトや本を読むようにしていました。”第二言語として英語を勉強している人向けの動画”ではなく、

ネイティブ向けのコンテンツ。アメリカに住んでいる自分と同世代くらいの人が普段見てそうな動画だけを見るようにしていたので、最初はわからない単語だらけでした。5分間に一回は辞書を引いていました。辞書も初めは英和辞典を使っていましたが、数ヶ月経って、分かる単語が増えてくると、Googleで“わからない単語 + meaning”と検索して英語で定義を見るようになりました。この生活の成果もあって、その一年後にカナダのバンクーバーに留学で、人生で初めての英語圏での生活でしたが、着いてから英語の理解や話すことに不自由はありませんでした。インターネットの力は偉大です。



Matt vs JapanのYouTubeページ



Googleで実際に英語単語の意味を調べる様子